

平成 29 年度  
海外研修事業

平成 30 年 3 月

公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団

## 目 次

I. 平成 29 年度海外研修事業実施概況	P.1
(1) 第 45 回生 海外研修の実施概要	P.2
(2) 第 45 回生 個別研修プログラム	P.3～4
(3) 第 44 回生・第 45 回生による海外研修報告会の実施	P.5～6
(4) 海外研修報告会出席者	P.7
II. 資料編（昭和 45 年～平成 29 年）	
(1) 海外研修 合同研修・個別研修実施実績	P.9～10
(2) 海外研修 個別研修訪問国実績	P.11～12
(3) 海外研修生 所属施設種類別・職種別人員実績	P.13
(4) 海外研修生 県別人員数	P.14

## 【平成29年度海外研修事業実施概況】

諸外国の施設における実習を通じて専門的な知識・技能を習得し、我が国の社会福祉サービスの向上に資することを志向する民間社会福祉施設等の直接処遇職員を募集（H29.5.1～7.31）、選考審査（応募書類、面接）を経て選抜、デンマークにおける5日間の合同研修修了後、約2か月間に及ぶ個別研修を実施。

### ・海外研修応募書類

- ①応募調書
- ②履歴書
- ③研修テーマ
- ④所属施設長の推薦書
- ⑤英検・TOEIC等の成績証明書の保持者はその写し
- ⑥施設のパンフレット

### ・受講者資格

- ①民間社会福祉施設等に勤務する直接処遇職員
- ②27歳以上45歳以下の者
- ③社会福祉施設における業務経験が通算5年以上及び引続き福祉業務を続ける意欲のある者
- ④日常的英会話能力を有する者

## (1) 第 45 回生 海外研修の実施概要

### 1. 合同研修期間：平成 29 年 4 月 23 日（月）～ 4 月 27 日（金）

- ・ 4 月 23 日から 4 月 27 日の 5 日間は合同研修実施  
合同研修の実施委託先：デンマーク ノーフュンスホイスコーレ 短期研修部  
合同研修修了後の 4 月 28 日から個別研修をスタート

### 2. 研修生（2 名）

#### ①佐藤 真希子（宮城県 在職年数：20 年）

所属・職種：社会医療法人 将道会 南東北相談支援センター  
主任介護支援専門員・社会福祉士

研修テーマ：高齢者の快適な生活の場とは  
ー地域包括ケアシステムの構築を目指してー

個別研修期間：平成 29 年 4 月 28 日～平成 29 年 6 月 24 日

#### ②小玉 武志（北海道 在職年数：11 年）

所属・職種：社会福祉法人恩賜財団済生会支部  
北海道済生会西小樽病院みどりの里  
機能訓練室係長・作業療法士

研修テーマ：重度の障害児・者の生活支援及び教育現場における  
作業療法士の役割  
ー障害児・者の生活を支援する福祉体系を学ぶー

個別研修期間：平成 29 年 4 月 28 日～平成 29 年 6 月 8 日

### 3. 個別研修国

- ・ アメリカ合衆国
- ・ カナダ
- ・ デンマーク
- ・ イギリス
- ・ ドイツ

## (2) 第45回生 個別研修プログラム(概要)

氏名		佐藤 真希子				
所属		社会医療法人 将道会 南東北相談支援センター 介護主任支援専門員・社会福祉士				
合同研修		デンマーク ノーフュンスホイスコーレ (4/24~4/28)				
	国	期間	施設名/都市名	施設の種類	研修内容	研修成果と施設への活用・導入方法等
5月	デンマーク	5/1 ~ 5/10	Ålholmjhemmet /Hillerød	認知症高齢者 集合住宅	認知症高齢者集合住宅の概 要、ケア（エデン・オルタナ ティブケア）の実際を学ぶ。	初めてエデン・オルタナティブケアに触 れ、認知症高齢者にとりとても効果的な 取り組みと実感した。即ハード面で取り 入れることは難しいことが予測される が、この理論の存在と効果を周知してい く。
		5/4	Sundhedscentret /Hillerød	ヘルスケア センター	コミュニケーションにおける、訪問系 在宅サービスの実際を学ぶ。 医療・福祉系学生の支援体制 を学ぶ。	看護師アシスタントという専門職の訪問 業務を学ぶことができた。少しの医療ケ アの提供で家庭生活が継続できることを 念頭に入れていく。 医療・福祉系学生を地域で支援している 体制を学ぶことができた。就職後もスー パーバイザーの存在は重要であり、離職 率低下にもつながることを伝えていく。
6月	アメリカ	5/15 ~ 5/26	Alive Hospice /Nashville	ホスピス	ホスピス病棟、在宅ホスピス ケアにおけるソーシャルワー カーの業務の実際を学ぶ。 ボランティアの開発方法を学 ぶ。	ホスピス病棟における患者、その家族の 療養生活の快適さの追求、在宅ホスピス ケアにおける患者の価値観や生活様式の 尊重、医療との融合を学ぶことができ た。また、ボランティアの開発→協働に より患者に癒しを提供できることを学ん だ。患者、家族、職員、ボランティア、 地域住民とのチームワークの重要性を啓 蒙する。
		6/1 ~ 6/14	寿ホーム /Union City	日本人または 日系アメリカ 人高齢者施設	アメリカにおける日系高齢者 の施設概要、ケアの実際を学 ぶ。	アメリカという外国で、日本の介護を提 供の実践を学ぶことができた。入居者主 体の柔軟なケアの提供を取り入れてい く。
	カナダ	6/19	Mt. St. Joseph's Hospital /Vancouver	総合病院 /老人ホーム	救急外来、救急病棟、老人 ホームにおけるソーシャル ワーカーの業務を学ぶ。	救急病棟にける、スピーディなアセスメ ント、他職種や地域とのチームワークを 学ぶことができた。効果的なチームワ ーク方法を作り上げる。 老人ホームにおける、利用者と職員とで 作り上げる生活を学ぶことができた。施 設内でも両者の協働の大切さを伝えてい く。
		6/20	St. Paul's Hospital /Vancouver	総合病院	緩和ケア病棟、成人の権利擁 護部門におけるソーシャル ワーカーの業務を学ぶ。 Medical Assistance in Dying について学ぶ。	カナダの「安楽死制度」について学ぶこ とができた。緩和ケア病棟におけるソー シャルワーカーの役割と効果的なミー ティングを学ぶことができた。権利擁護 について学ぶことができた。日本国民と しての権利について学び、専門職として 地域住民の権利を擁護していく。
		6/21	Youville Residence /Vancouver	老人ホーム	老人ホームの概要、ソーシャ ルワーカーの業務を学ぶ。	老人ホームにおけるソーシャルワーカー の役割について学ぶことができた。たと え入居者が重度の認知面の低下があつて も、その瞬間瞬間、入居者が大切に感じ ていることの追求を行っていく。
6/22 ~ 6/24	St. Vincent's Langara Residence /Vancouver	老人ホーム	老人ホームの概要、ソーシャ ルワーカーの業務を学ぶ。	老人ホームにおけるソーシャルワーク業 務を総合的に学ぶことができた。また面 接技術についても学ぶことができた。学 んだ面接技術をソーシャルワーカーやケ アマネジャーに伝え活用していく。		
計 62日		訪問国 3カ国 訪問施設 8カ所				

氏名	小玉 武志					
所属	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 北海道済生会西小樽病院 みどりの里 機能訓練室係長・作業療法士					
合同研修	デンマーク ノーフュンスホイスコーレ (4/24～4/28)					
	国	期間	施設名/都市名	施設の種類	研修内容	研修成果と施設への活用・導入方法等
4月	イギリス	4/29 ～ 5/3	Worcester Snoezoren/ Worcester	障害児・者の療 育センター	障害児や障害者が自由に利用できるスヌーズレンセンターで各プログラムに参加する。	スヌーズレンを活用した取り組みを参考にし、感覚刺激を楽しめる環境を提供できる場を保障していく。
		5/4 ～ 5/7	Richard Cloudesley School/ London	公立特別支援学 校	障害児教育の現場で、対象となっている子供の教育システムと教育設備について学び、作業療法士が行なっている業務の一部を知る。	学齢期にある障害を子どもに対して、学校での学びを効果的なものにするために、日々のリハビリテーションと学校場面における課題を関連づけた関わりを行う。
		5/8 ～ 5/12	Brunel University London/ London	国立大学	発達障害を持つ大学生に対する取り組みを学ぶ。	文章を読む事や書く事が難しい学生に対して、アシスティブテクノロジーを通じた学習支援の情報提供を行えるよう自身の知識を身につけていく。
5月	ドイツ	5/13 ～ 5/19	Fläming Grundschule/ Berlin	州立小学校	地域の普通小学校で、障害児の教育を行なっている現場を学び、インクルーシブ教育のあり方について学ぶ。	学習場面だけではなく、生活場面においても子ども同士の関わりの中で成長していく姿を感じる事ができた。施設においても学齢期にある子供が地域と触れ合う機会を持てるよう提案していく。
		5/20 ～ 5/25	Munkehatten/ Odense	成人障害者住居 施設	重度な障害者の地域での生活を見学し、実際の支援現場にて同行参加する。	障害者を「病人」としてではなく一人の個人として対応し、可能な限りニーズに応えることで、生活の質を高めるための支援へと役立てていきたい。
		5/29 ～ 5/30	Glenrose rehabilitation hospital/ Edmonton	州立リハビリ テーション 病院	障害を持つ子供の外来リハビリ テーションの設備や取り組みにつ いて学ぶ。	様々な支援機器があることを知ったとともに、それを情報として知っていることの重要性を感じる事ができた。可能な限り必要な支援機器を取り入れる工夫をしていきたい。
6月	カナダ	6/1	Elves Special Needs Society/ Edmonton	州立特別支援学 校	障害児教育の現場を見学し、作業 療法士の業務に参加する。	作業療法士として、授業中の活動の中に、食事に対する介入や感覚受容に対する介入が行われていることを知った。これらの取り組みを施設内でも行なっていきたい。
		6/2	Jen's House/ Edmonton	障害者住居 施設	地域で生活する障害者の設備と生 活を知る。	地域で暮らす障害者の住居施設は、個人のプライベートな空間が確保されていることを学んだ。個々人を尊重した支援を実践していきたい。
		6/5	Alberta Children's Hopital/ Calgary	州立こども 病院	小児専門の病院の取り組みを見学 し、医療と福祉、教育の場面につ いて学ぶ。	診断のための入院があるように、個々の能力と必要な支援を適切に把握する必要があることを学んだ。
		6/6	Renfrew Educational Services/ Calgary	州立特別支援学 校	障害を持つ子供の教育現場での取 り組みを見学し、支援について学 ぶ。	早期介入によって障害児クラスから通常学級へと繋がることもある。早期介入の必要性について学んだ。
	アメリカ	6/8	Grimmer Elementary school/ Fremont	州立小学校	地域の小学校に設置された障害を 持つ子供のクラスに参加し、作業 療法士としての取り組みを学ぶ。	作業療法士は授業の枠で支援を行なっていることを学んだ。集団の中での課題や、個人としての課題を構成した活動の重要性を学んだ。
計49日	訪問国 5カ国 訪問施設 11カ所					

### (3) 第44回生・第45回生による海外研修報告会の実施

1. 開催日時：平成29年10月28日(土) 13:00～17:30
2. 場 所：キャンパスプラザ京都
3. 報 告 者：44回生（平成28年度）・45回生（平成29年度）の研修生4名
4. 来 賓：京都馬主協会 常務理事 大塚 亮一 社会福祉・財務委員長  
厚生労働省社会・援護局 添田 正揮 社会福祉専門官
5. 報 告
  - ① 13:30～14:10 44回生 正木 陽子  
(含む質疑応答) 社会福祉法人 神戸真生塾  
児童養護施設神戸真生塾生活・児童指導員
  - ② 14:10～14:50 44回生 比嘉 寿  
(公社)沖縄県精神保健福祉会  
ワークプラザエティ サービス管理責任者
  - 《 休憩 10分 》
  - ③ 15:00～15:40 45回生 佐藤 真希子  
社会医療法人 将道会  
南東北相談支援センター 介護支援専門員
  - ④ 15:40～16:20 45回生 小玉 武志  
社会福祉法人 恩賜財団済生会支部  
西小樽病院 みどりの里 作業療法士

《全般についての質疑応答 10分 》

【特別講演】 16:30～17:30

厚生労働省 社会・援護局 添田 正揮 社会福祉専門官  
「地域共生社会の実現に向けた取組の推進」について

## 6. 研修報告者の研修概要

### ① 第44回生 正木 陽子（児童指導員）

研修テーマ：「社会的養護のあり方について」  
研 修 国：アメリカ・カナダ・デンマーク・イギリス  
研 修 期 間：平成28年4月11日～6月9日

### ② 第44回生 比嘉 寿（サービス管理責任者）

研修テーマ：「精神保健福祉におけるピアサポートの有効性と  
その肯定的な力」-人の存在を尊ぶ関わりについて-  
研 修 国：デンマーク・イタリア・オーストラリア  
研 修 期 間：平成28年4月11日～5月28日

### ③ 第45回生 佐藤 真希子（介護支援専門員）

研修テーマ：「高齢者の快適な生活の場とは」  
-地域包括ケアシステムの構築を目指して-  
研 修 国：デンマーク・アメリカ・カナダ  
研 修 期 間：平成29年4月24日～6月24日

### ④ 第45回生 小玉 武志（作業療法士）

研修テーマ：「重度の障害者の生活支援と教育現場における作業療法士  
の役割」-障害児・者の生活を支援する福祉体系を学ぶ-  
研 修 国：イギリス・ドイツ・デンマーク・カナダ・アメリカ  
研 修 期 間：平成29年4月24日～6月8日



#### (4) 海外研修報告会出席者

ご来賓	京都馬主協会 大塚 亮一	京都馬主協会常務理事、社会福祉・財務委員長	
ご来賓	厚生労働省 添田 正揮	厚生労働省 社会・援護局 社会福祉専門官（特別講師）	
研修報告者-1	第44回生 正木 陽子	(福) 神戸真生塾児童養護施設神戸真生塾 生活指導員	兵庫県
研修報告者-2	第44回生 比嘉 寿	(公社) 沖縄県精神保健福祉会連合会 ワークプラザユニティー サービス管理責任者	沖縄県
研修報告者-3	第45回生 佐藤 真希子	(社会医療法人) 将道会 南東北相談支援センター 介護支援専門員	宮城県
研修報告者-4	第45回生 小玉 武志	(福) 恩賜財団済生会支部北海道済生会西小樽病院 みどりの里 機能訓練室係長・作業療法士	北海道

聴講者	所 属	研修回	年度
仲 経 敬	(福) 白百合学園 アリス・エリザベスホーム管理者	兵庫県	1 S45
辻 村 泰 範	(福) 宝山寺福祉事業団 理事長	奈良県	5 S49
荒 巻 操		東京都	9 S53
末 光 茂	(福) 旭川荘 理事長	岡山県	10 S54
赤 松 保 利	公益社団法人大阪社会福祉士会	大阪府	23 H5
俵 木 伸 子	(福) 緑風会 エリザベート成城	東京都	30 H13
荒 井 美 奈 子	(福) 緑風会 エリザベート成城	東京都	
樽 井 康 彦	龍谷大学 社会学部 現代福祉学准教授	大阪府	31 H14
川 本 ま り 子	(福) 明光福祉会明光 保育園園長	兵庫県	31 H14
宇 城 輝 美	(福) 阪南福祉事業会 あおぞら	大阪府	32 H16
田 村 啓 子	(福) 乙の国福祉会 理事長	京都府	34 H18
丸 山 和 幸	(福) 三田谷治療教育院 芦屋翠ホーム施設長	兵庫県	35 H19
木 下 達 夫	大阪府立交野支援学校	大阪府	37 H21
谷 口 博 己	(福) 旭川荘 いんべ通園センター 支援課長	岡山県	39 H23
小 島 愛 子	一般財団法人ホースコミュニティ	北海道	39 H23
川 邊 真 歩	一般財団法人ホースコミュニティ	北海道	
中 島 る み	(福) 愛徳福祉会	大阪府	39 H23
桂 川 琢 哉	(福) 甲山福祉センター 西宮すなご医療センター病棟主任	兵庫県	40 H24
磯 部 伸 之	(福) アトリエ alterego(オルテゴ) 理事長 生活支援員	神奈川県	42 H26
武 智 薫	医療法人ふらて会 老人介護保健施設やすらぎ 理学療法士	福岡県	43 H27
嶋 倉 春 菜	(福) 東京光の家 光の家新生園 生活支援員	東京都	43 H27

事務局	畑 山 光 伸	(公財) 中央競馬馬主社会福祉財団 理事長
	西 川 浩 明	(公財) 中央競馬馬主社会福祉財団 専務理事
	今 田 敦 夫	(公財) 中央競馬馬主社会福祉財団 事務局長
	萩 原 美 代 子	(公財) 中央競馬馬主社会福祉財団 企画・管理部

## II. 海外研修 資料編

## (1) 海外研修 合同研修・個別研修実施実績 (昭和45年～平成29年)

年度	(回数)	研修生 (人)	合同研修		研修期間 (合同研修含)	個別研修期間
			日程	研修地		
昭和45年	(第1回)	11	(合同研修は無)		3ヶ月 ↓	2/10～5/15
昭和46年	(第2回)	15	(合同研修は無)			1/3～3/31
昭和47年	(第3回)	17	4/14～5/5	デンマーク		5/6～8/18
昭和48年	(第4回)	11	3/30～4/21	デンマーク		4/22～6/18
			4/30～5/7	イギリス		5/8～6/27
昭和49年	(第5回)	13	3/29～4/11	イギリス		4/12～7/17
			4/22～5/3	オランダ		5/4～7/17
昭和50年	(第6回)	8	4/11～4/25	オランダ		4/26～8/31
昭和51年	(第7回)	7	4/24～5/7	アメリカ		5/8～7/16
昭和52年	(第8回)	8	4/16～4/30	アメリカ		5/1～7/23
昭和53年	(第9回)	7	4/1～4/15	デンマーク		4/15～7/10
昭和54年	(第10回)	10	4/20～5/4	デンマーク		5/5～8/20
昭和55年	(第11回)	5	4/12～4/26	アメリカ		4/27～8/6
昭和56年	(第12回)	7	4/25～5/8	アメリカ		5/9～8/25
昭和57年	(第13回)	6	4/17～4/30	デンマーク		5/1～7/31
昭和58年	(第14回)	8	4/16～4/29	デンマーク		4/30～8/1
昭和59年	(第15回)	11	4/28～5/11	アメリカ		5/12～8/19
昭和60年	(第16回)	6	4/13～4/26	アメリカ		4/27～8/4
昭和61年	(第17回)	6	4/5～4/18	デンマーク		4/19～8/20
昭和62年	(第18回)	7	4/25～5/8	デンマーク		5/9～8/21
昭和63年	(第19回)	8	4/9～4/22	アメリカ	4/22～8/31	
平成元年	(第20回)	8	4/8～4/21	アメリカ	4/22～8/4	
平成2年	(第21回)	11	4/28～5/4	デンマーク	5/5～8/31	
平成3年		中止 (湾岸戦争のため)				
平成4年	(第22回)	9	4/25～5/8	デンマーク	↓	5/9～8/30
平成5年	(第23回)	9	4/3～4/16	アメリカ		4/17～8/28
平成6年	(第24回)	5	4/9～4/22	アメリカ		4/23～7/26
平成7年		中止 (新制度検討のため)				

年度 (回数)	研修生 (人)	合同研修		研修期間 (合同研修含)	個別研修期間
		日程	研修地		
平成8年 (第25回)	5	4/12 ~ 4/26	デンマーク	2~4ヶ月以内 ↓	4/27~8/24
平成9年 (第26回)	5	4/4 ~ 4/18	デンマーク		4/19~7/26
平成10年 (第27回)	7	4/11 ~ 4/24	アメリカ		4/25~8/10
平成11年 (第28回)	6	4/9 ~ 4/23	アメリカ		4/24~8/8
平成12年 (第29回)	8	4/1 ~ 4/14	デンマーク		4/15~7/31
平成13年 (第30回)	6	4/21 ~ 5/4	デンマーク		5/4~8/20
平成14年 (第31回)	6	4/12 ~ 4/26	アメリカ		4/27~8/11
平成15年	中止 (イラク戦争のため)				
平成16年 (第32回)	6	4/9 ~ 4/23	アメリカ	↓	4/24~8/8
平成17年 (第33回)	5	4/10 ~ 4/21	デンマーク		4/22~7/8
平成18年 (第34回)	5	4/17 ~ 4/27	デンマーク		4/28~7/16
平成19年 (第35回)	5	4/10 ~ 4/19	アメリカ		4/20~7/9
平成20年 (第36回)	5	4/8 ~ 4/18	アメリカ		4/19~7/9
平成21年 (第37回)	5	4/19 ~ 4/28	デンマーク		4/29~7/17
平成22年 (第38回)	5	4/27 ~ 5/2	デンマーク		5/3~7/18
平成23年 (第39回)	4	4/12 ~ 4/21	アメリカ		2~3ヶ月以内
平成24年 (第40回)	4	4/9 ~ 4/13	アメリカ	3週間以上 2ヶ月以内	4/14~6/11
平成25年 (第41回)	4	4/15 ~ 4/19	デンマーク		4/20~6/14
平成26年 (第42回)	4	4/22 ~ 4/25	デンマーク		4/26~7/13
平成27年 (第43回)	4	4/6 ~ 4/10	アメリカ		4/11~6/6
平成28年 (第44回)	2	4/11 ~ 4/15	アメリカ		4/16~6/10
平成29年 (第45回)	2	4/24 ~ 4/28	デンマーク		4/29~6/24
<b>計 316 人</b>					

## (2) 海外研修 個別研修訪問国実績 (昭和45年～平成29年)

区分	アメリカ	カナダ	イギリス	フランス	(ドイツ)	スイス	オーストリア	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	デンマーク	スウェーデン	ノルウェー	フィンランド	アイルランド	ポーランド	ハンガリー	ユーゴスラビア	ポルトガル	ブルガリア	オーストラリア	ニュージーランド	インド	タイ	スリランカ	マレーシア	インドネシア	ケニア	スロベニア	メキシコ	ロシア	韓国	延べ人員	実人員
昭和45年第1回	5	0	4		2	2						3	3		2																		21	11	
昭和46年第2回	8	0	5	1	7			1		4		4	4		2																			36	15
昭和47年第3回	7	1	15	6	12	6	3	4		9	1	15	8	3	1					1				2	1									95	17
昭和48年第4回	7	0	7	3	6	5		2				5	3	1	2																			41	11
昭和49年第5回	6	0	10	1	5	5	2			7	1	4	4	1	1																			47	13
昭和50年第6回	6	2	7	2	1	2	1	2		8	1	6	2	1																				41	8
昭和51年第7回	7	4	4		2	1		1	1	1		2		1																				24	7
昭和52年第8回	8	2	5	1	3					1	1	4	1			1				1														28	8
昭和53年第9回	3	1	4	1	2					1		2	2																					16	7
昭和54年第10回	4	2	5		5	2	1			2		5	1									1												28	10
昭和55年第11回	4	2	2	1	1	1						1		1																				13	5
昭和56年第12回	7	2	3	1	3	2		1				3	2	1								1												26	7
昭和57年第13回	3	1	3		3	2				1		1	1			1																		16	6
昭和58年第14回	7	2	4	1	3	3		1		1		2	1	1								1												27	8
昭和59年第15回	10	1	4	1	2					2		1	2																					23	11
昭和60年第16回	6	0	2		1					1		2		1																				13	6
昭和61年第17回	5	2	1		2	1	1			1		1			1		1																	16	6
昭和62年第18回	6	3	6	2	2	2		1	1	1		4	3	1	2																			34	7
昭和63年第19回	7	3	2		2	1				2		2	4						1									1						25	8
平成元年第20回	8	2	3	1		1						2	2																					19	8
平成2年第21回	6	3	1	1	3		1					6	3	1	1							1				1								28	11
平成4年第22回	7	2	6	1	2	1			1	1	1	5	4									1								1				33	9
平成5年第23回	6	2	6		1	2				3		5			2							1	1											30	9
平成6年第24回	4	0	2									2																						8	5
平成8年第25回	2	0	2	1	1	1				2		4	1	1																				15	5
平成9年第26回	3	0	3									2	2	1	1												1	1						14	5
平成10年第27回	6	3	4									4	1																					18	7
平成11年第28回	5	3	3	1								3	1	1																				17	6
平成12年第29回	6	2	2		2	1				1		2	1								1		1	1										20	8
平成13年第30回	2	1	3		1						1	1	3		1																1			14	6
平成14年第31回	3	2	1	1	2						1	2	2									1												15	6
平成16年第32回	5	1	3					1		1	1	3	2									1												18	6
平成17年第33回	2	1	1		1							2	3											1										11	5
平成18年第34回	2	0	2		1							4	2																					11	5

区 分	ア メ リ カ	カ ナ ダ	イ ギ リ ス	フ ラ ン ス	(西 ド イ ツ )	ス イス	オ ー ス ト リ ア	イ タ リ ア	ス ペ イ ン	オ ラ ン ダ	ベ ル ギ ー	デ ン マ ー ク	ス ウ エ ー デ ン	ノ ル ウ エ ー	フ イ ン ラ ン ド	ア イ ル ラ ン ド	ポ ー ラ ン ド	ハ ン ガ リ ー	ユ ー ゴ ス ラ ビ ア	ポ ル ト ガ ル	ブ ル ガ リ ア	オ ー ス ト ラ リ ア	ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド	イ ン ド ネ シ ア	タ イ ラ ン ド	ス リ ラ ン カ	マ レ ー シ ア	ケ ニ シ ア	ス ロ ベ ニ ア	メ キ シ コ	ロ シ ア	韓 国	延 人 員	実 人 員		
平成19年 第35回	4		1							1		2										1												9	5	
平成20年 第36回	5	1	1									3	2										1											13	5	
平成21年 第37回	1	4	2		1							3	2	1																				14	5	
平成22年 第38回	4	1			1			1				4	1	1																		1		14	5	
平成23年 第39回	4	1	3							1		2	1										1												13	4
平成24年 第40回	3		1		1				1			3																					1		10	4
平成25年 第41回			2	1	2					1	1	2	3		1							1													14	4
平成26年 第42回	1	2				2	1					2			1							2	1												12	4
平成27年 第43回	3	1	2				1								2								1												10	4
平成28年 第44回	2	1	1					1				2										1													8	2
平成29年 第45回	2	2	1		1							2																							8	2
合 計	212	63	149	28	84	43	11	16	4	53	9	136	80	14	24	1	1	1	1	1	2	13	7	3	1	1	1	1	1	1	1	1	2	966	316	

## (3) 海外研修生 所属施設種別・職種別人員実績 (昭和45年～平成29年)

(施設種別)		(職種別)		
施設区分	研修生 (人)	職種区分	研修生 (人)	
身体障害者更生施設	19	指導員等	生活指導員	104
身体障害者療護施設	3		職業(作業・訓練)指導員	5
身体障害者授産施設	14		児童指導員	53
視覚障害者情報提供施設 (点字図書館等)	11	心理判定員	12	
知的障害者更生施設	24	理学療法士 PT	29	
知的障害者授産施設	10	作業療法士 OT	11	
知的障害者通勤寮	1	言語聴覚士 ST	5	
肢体不自由児施設 (サリドマイド児施設)	31	介護職員	12	
重症心身障害児施設	23	保育士	32	
知的障害児施設	27	医師	14	
児童養護施設 (養護施設・虚弱児施設)	30	看護師	7	
情緒障害児短期治療施設	3	相談員(カウンセラー)	5	
母子生活支援施設 (母子寮)	5	その他の	歩行訓練士	2
乳児院	5		精神保健福祉士	1
保育所	26		点字指導員	7
盲ろうあ児施設 (難聴幼児通園施設)	1		栄養士	4
特別養護老人ホーム	47		ケアマネージャー	2
養護老人ホーム	10		コミュニティワーカー	4
養護(盲)老人ホーム	3		ケースワーカー	1
軽費老人ホーム	4		ソーシャルワーカー	1
老人テ`イ・サービスセンター	2		介護支援専門員	3
救護・更生施設	4		他	2
精神障害者小規模作業所	1	合計	316	
特定非営利法人(NPO)	3			
その他	9			
合計	316			

## (4) 海外研修生 県別人員数 (昭和45年～平成29年)

県	人	政令市	人
北海道	5	札幌市	6
青森県	2	仙台市	
岩手県	1	さいたま市	
宮城県	2	千葉市	1
秋田県	2	横浜市	1
山形県	1	川崎市	1
福島県		相模原市	1
茨城県	1	新潟市	
栃木県	1	静岡市	
群馬県	5	浜松市	
埼玉県	16	名古屋市	2
千葉県	14	京都市	4
東京都	53	大阪市	23
神奈川県	18	堺市	2
新潟県	2	神戸市	9
富山県	2	岡山市	2
石川県	1	広島市	2
福井県	2	北九州市	9
山梨県	2	福岡市	3
長野県	1	熊本市	
岐阜県	2	計	66
静岡県	3	合計	316
愛知県	2		
三重県			
滋賀県			
京都府	3		
大阪府	25		
兵庫県	17		
奈良県	4		
和歌山県	4		
鳥取県	2		
島根県	3		
岡山県	11		
広島県	5		
山口県	1		
徳島県	1		
香川県	5		
愛媛県	1		
高知県	2		
福岡県	3		
佐賀県	6		
長崎県	2		
熊本県	2		
大分県	5		
宮崎県	2		
鹿児島県	3		
沖縄県	5		
計	250		